

『魅力と活力あふれ 夢ふくらむ 未来輝くまち』を目指して

新年のごあいさつを申し上げます



長洲町長 中逸 博光

新年明けましておめでとうございます。

令和4年の輝かしい幕開けを迎えるにあたり、謹んで新春のお慶びを申しあげます。

昨年を振り返りますと、長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種イベントの中止や延期などを余儀なくされ、引き続き厳しい町政運営となつた一年でした。

そのような中で、昨年4月に町民の皆様からの付託を受け、4期目の新たな長洲町のかじ取りを担当させていただいたことを大変光栄に思うとともに、これまで築いてまいりました、「定住・福祉・産業・教育」各分野の事業をさらに前進し、長洲町の発展に向け全力で取り組んでまいります。

定住分野においては、本年3月に高浜地区に新しい町営住宅が完成予定であり、活気あるまちづくりができつつあります。また、長洲町から南関ICを結ぶ道路の整備に着手とともに、有

明海沿岸道路の早期整備に向け、引き続き要望活動に力を入れてまいる所存であります。

福祉分野におきましては、各地に整備された33カ所の介護予防拠点施設にWi-Fi環境を整備いたしました。今後は各行政区でICTを活用した健康づくりを促進し、元気なまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

また、産業分野におきましては、熊本県内初の取り組みとして、町内の対象店舗で「Pay Pay」を利用してお買い物をしていただくと、お会計金額の最大20%が「Pay Pay」のポイントとして還元されるキャンペーン事業を実施し地域経済の回復および地域全体へキヤッショレス普及・導入促進を図っております。

教育分野におきましては、荒尾市と連携し、本年9月の共用開始を目指して、新学校給食センターの整備を進めております。荒尾市・長洲町の子どもたちに、安心・安全でおいしい学校給食の提

供を実現してまいります。

最後になりますが、長洲町は昭和32年に旧長洲町と腹栄村が合併し、本年10月で65周年という大きな節目を迎えます。この65周年を一つの契機に、「住みたい・住んでよかった」と思えるような、皆様を魅了する事業を展開してまいりたいと考えておりますので、皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願ひ申しあげますとともに、令和4年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申しあげ、年頭のご挨拶といたします。

